

特定非営利活動法人 女性と子の未来

アンの家 Anne's House 5月通信

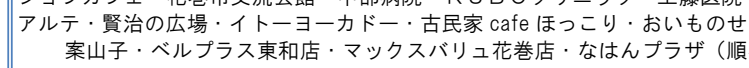
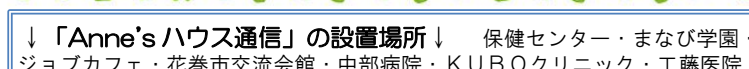
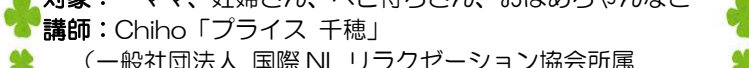
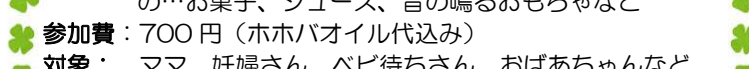
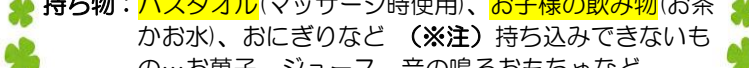
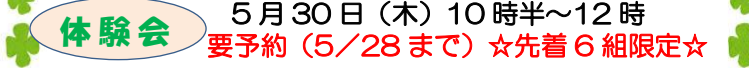
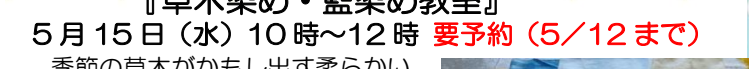


〒025-0062 岩手県花巻市上小舟渡 272-1, 8号棟 0198-41-3310
開館日時：月曜～日曜 10時～16時 (年末年始・祝祭日は休み)
メール相談：soudan@jyoseitokonomirai.org HP: <https://jyoseitokonomirai.org/>

★5月の休館日は、5/1 (水)～5/5(日)です★

5月のイベント

講師の急な都合で万一中止になった場合、HP (<https://jyoseitokonomirai.org>) にてお知らせ致します。



『絵手紙教室』

5月13日(月) 10時半～12時
要予約 (5/10まで)

「ヘタがいい、ヘタでいい」

気持ちのこもった絵手紙を描いてみませんか？
託児はないけど、子連れOK◎

対象：どなたでも 持ち物：特になし

参加費：500円 講師：照井満喜子さん
(日本絵手紙協会公認講師)



『お菓子教室☆チーズケーキ作り』

5月18日(土) 10時～12時

要予約 (5/15まで) ・先着3名限定

超簡単！ お手軽なバイクドチーズケーキを作りますよ。

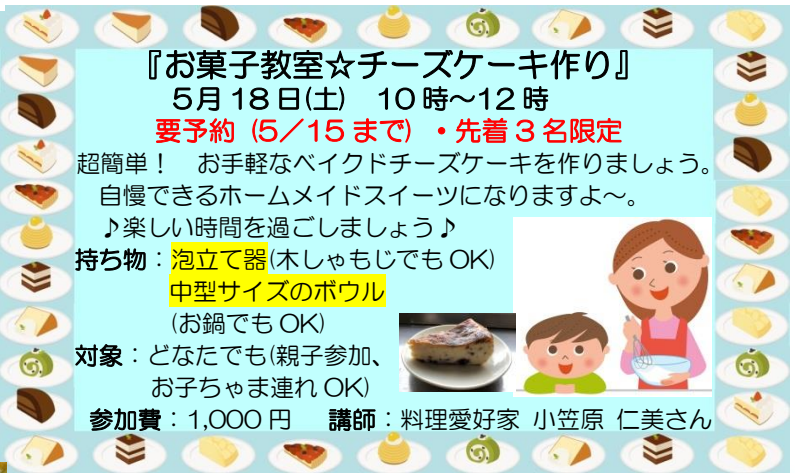
自慢できるホームメイドスイーツになりますよ～。

♪楽しい時間を過ごしましょう♪

持ち物：泡立て器(木しゃもじでもOK)
中型サイズのボウル

(お鍋でもOK)
対象：どなたでも(親子参加、
お子ちゃま連れOK)

参加費：1,000円 講師：料理愛好家 小笠原 仁美さん



『ストレスケアのアロマ講座』

5月25日(土) 10時半～12時 要予約 (5/22まで)

(先着10名)

100%天然精油の香りで**ストレスケア**！

アロマストーンに垂らして、机上や枕元に

置いて香りを楽しむ他、ポーチに入れば

開けるたびに良い香りで小さな癒しになります。

ストレスは色々な不調のもとです。

- ◆すぐ風邪をひく
- ◆よく眠れない
- ◆お腹が痛くなりやすい



直径約4cmの
ストーンに
精油を垂らします

……そんな方は、気付かぬうちにストレスをためているのかも。

対象：どなたでも(お子様連れも可)

参加費：2,000円(ストーンと持ち帰り用精油代込み)

持ち物：筆記用具 講師：高橋理恵さん(みずのわ)

『ベビーキッズトリートメント&子育て講座』

5月30日(木) 10時半～12時

要予約 (5/28まで) ☆先着6組限定☆

Be Happy マミーズメソッド!

今すぐ始められる、親子のスキンシップの方法*食育のこと*トリートメントの効果など.....みんながハッピーになれる方法を始めましょう♪

持ち物：バスタオル(マッサージ時使用)、お子様の飲み物(お茶かお水)、おにぎりなど (※注) 持ち込みできないもの...お菓子、ジュース、音の鳴るおもちゃなど

参加費：700円(ホホバオイル代込み)

対象：ママ、妊婦さん、ベビ待ちさん、おばあちゃんなど

講師：Chiho「プライス 千穂」

(一般社団法人 国際NLリラクゼーション協会所属)

リラクゼーションヨガ2級、ベビーキッズアドバイザー2級)

リラクゼーションヨガ2級、ベビーキッズアドバイザー2級)

リラクゼーションヨガ2級、ベビーキッズアドバイザー2級)

リラクゼーションヨガ2級、ベビーキッズアドバイザー2級)

リラクゼーションヨガ2級、ベビーキッズアドバイザー2級)

リラクゼーションヨガ2級、ベビーキッズアドバイザー2級)

リラクゼーションヨガ2級、ベビーキッズアドバイザー2級)

『ダイエットお喋り会』

5月24日(金) 10時半～12時

予約不要

4月、盛り上がって楽しかったので
5月も開催します！

初対面の人同士も打ち解けて話すことができました。

目的は「おしゃべりすること」なので、話題はダイエットに限りません。気軽に参加してみませんか？

対象：どなたでも(お子様連れも可) 参加費：無料

持ち物：特になし 世話人：大木きぬよさん



↓「Anne's House通信」の設置場所↓ 保健センター・まなび学園・こどもセンター・花巻市役所・花巻市内図書館・花巻市内子育て支援センター・ジョブカフェ・花巻市交流会館・中部病院・KUBOクリニック・工藤医院・川嶋医院・こどもみらいクリニック・はじめこどもクリニック・ゆかわ脳外科・アルテ・賢治の広場・イトーヨーカドー・古民家 cafe ほっこり・おいものせなか・フォルダ・ビッグハウス・しっぽ・産直あおぞら・つたの輪・花城食彩館・案山子・ベルプラス東和店・マックスバリュ花巻店・なはんプラザ(順不同・敬称略) チラシ置いても良いというお申し出、お待ちしております。

ペンリレー①

私にだって、できる！

☆今から4年ほど前のこと。当時私はシングルマザー、わが子は0歳。初めての育児に戸惑い、実家に身を寄せながらどうにか日々の生活を送っている状態でした。“働きたくても保育園に落ちる、経済的に自立できない、精神的にも苦しい……。”それでも心の中では「私はいつか自分で事業をするんだ！」と夢を持って自分を励ましていたのです。

そんな折、花巻市内にママハウス（現・アンの家）があると知り、息子を連れて訪ねてみたことが私にとっての転機となりました。鬱々とした日の悩みを聞いてもらうだけでなく、相談員の方に「貴女だったら出来るんじゃない？」と背中を押してもらい、起業家支援塾の講義も受講しました。講師の先生との出会いや同志との交流は、まるでそれまでの**灰色の世界に色がついたような鮮やかさ**でした。



☆そして現在、私は資格も取得し・個人事業を立ち上げ・心理カウンセラーとして活動しています！ 当時0歳だった息子は2人のお兄ちゃんになりました。母親業と個人事業の両立はもちろん大変ですが、閉ざされた家の中で息子と2人泣いていたあの日々に比べたら“月とスッポン”！ 楽しくて仕方ありません！ **目標を持って夢に向かって進んでいくことで、私は私として輝ける！** 夢を夢のまま終わらせるのはもったいないことですね。沢山の方々との出会いとご縁に感謝しながら、これからも成長していきます。（ペンネーム：M.M）

手話で「令和」

脇の前で指先を上に向けてすばゆめ、ゆっくり開きながら手を前に。

ペンリレー②

新しい手話はどうやって作る？

新元号「令和」を手話でどう表すのか、新聞で読んだ。「そうか、元号を表す手話もあるんだ」と感じて、そんな当たり前のことを今まで考えもしなかった自分に呆れた。私が手話の存在を知ってから30年は経っているのに……。

新しい言葉の手話は、「日本手話研究所」が厚生労働省の委託で考案。「令和」の手話は、全国を9つの地区に分けた班でそれぞれ案を提出し、その後手話通訳者や学識者など6人からなる委員会で協議して決めたとのこと。

本来はパブリックコメント実施を経て決定まで数カ月かかるのだそうだが、今回は省略して少しでも早く決定することを優先したらしい。元号制について、いろいろ面倒だと思うこともあるけれど、手話について少し考えるきっかけになって良かったと思う。

ペンリレー ③

♡令和の期待は、平和の時代♡

昭和は戦争の時代。私が母の胎内にいた3月10日、三鷹の上空をB29が編隊を組んで飛来。東京下町の隅田・江東方面を襲撃！ 東京下町は焼夷弾が雨霞の如く降り注ぎ、死者10万人・罹災者100万人以上の方が罹災！ しかし、当時の軍部は“本土決戦”を叫び戦争終結を躊躇した。結果、**長崎・広島への原爆投下**で、昭和天皇による終戦勅語が発せられ、昭和20年8月15日漸く終戦を迎えた。その夜の晩から、久方ぶりに電灯に掛けていた布を外し、明るい室内と窓を明け放せることが出来、終戦と平和を実感！



終戦後、私は**ハワイ・サイパン・グアム・真珠湾・沖縄本島（南部戦跡等）**に出掛けた。ハワイでは、今でも油がボカボカと沈ませられた船底から浮いてきているのが、「兵士の涙」とであると説明された。私は日本人であることを悟られまいと恐怖と緊張を感じていたのは、今でも鮮明な記憶！ 沖縄でも、大人・子どもの見境ない機銃掃射で命を落とした方が多く、沖縄の南部戦跡では、観光バスのガイドさんが「ここは鉄の雨が降りました！ 今後、一木・一草も、生えないでしょう」と爆弾が大量に落とされたことを表現していた。

“ひめゆりの塔”は、当時の女子学生たちが看護師として、軍部と一緒に移動し、米軍の攻撃に怯えていたことと、自決の指示の中で、日々の緊張と恐怖に曝された日々は、戦争の残酷さ以外の何物でもない！

サイパン・グアムは、リゾート地として若者がレジャーを楽しんでいる地であるが、旧日本軍の錆び切った舟艇が海水面に一部出ている脇を、私の乗ったバナナボートはかすように飛んで走っていた。また、陸地の奥には壕があり、そこで自決した兵や民間人の霊が未だ漂っているかのようなヒヤッとした空気が漂っていた。ガイドから「壕に向かって、写真を撮らない」という注意がされた。無念な魂は成仏できずに、未だ苦しんでいるのだろうと胸が詰まった。南方の島の“**ハンザイクリフ**”と呼ばれる断崖では、迫りくる米軍の手から逃れようと女性や子供も、万歳の形で両手を頭の上に組み、海に飛び込んだとのこと。天皇のいる日本の方に向けて万歳ではなく、途中、木に引っかかって苦しむことの無いようにとの思いで、飛び込んだと聞き、その苦しさ・切なさに胸が塞がった。

帝国軍人は「捕まって辱めを受けない」を鉄則に、自決を強要したと聞き、愕然とした！ 軍隊は国民を守るのが前提であるはずが、赤ちゃんの泣き声で、米兵に見つかるからとの弁で、民間人（母子）を壕から追い出したり、捕虜になるなど手榴弾を渡し自決を迫ったことなど、兵隊や民間人の命は戦時故に消耗品だった。

片道切符のガソリンだけ搭載して、次世代を担うべき人材であったと特攻の学徒は消耗品の如くに、米艦への体当たりなど、戦争にまつわる過去の忌まわしさが昭和の時代であった。



花巻市委託事業

☆「女性相談室」は、日々、10時—15時、相談をお受けいたします。（予約不要）

子どものこと・仕事のこと・お金のこと・離婚のこと・DVのことなど、来所のほか、

soudan@jyoseitokonomirai.org のメール相談及び電話相談もできます。ご利用ください。無料です。

☆「女性弁護士の無料法律相談」 原則毎月第2火曜日（5月14日・13:30~15:30）

※6月の女性弁護士（石井恵子氏）相談は11日（火）となります（相談料は無料です）。事前の予約が必要です。

ご予約は、2週間前から“アンの家 Anne'sハウス0198-41-3310”で受け付けております。